

石綿（アスベスト）分析結果

【試料名】

リシン吹付け

【採取場所（採取部位）】

県営鳴海住宅 0-3号棟 外壁

【分析方法】

JIS A 1481-1 偏光顕微鏡によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法

JIS A 1481-3 アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

注記1 分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト

注記2 JIS A 1481-3 による定量分析は、JIS A 1481-1 による定性分析の結果、“アスベスト含有”と判定された場合に行う方法であり、アスベストが含有していない場合、または定性分析のみのご依頼の場合は行わない。

【分析方法の概要】

①JIS A 1481-1によるバルク材中のアスベストの定性的判定方法の概要

アスベスト繊維の同定は、基本として次の分析順序で行う。

- 目視により試料全体をよく観察する。必要に応じて繊維を剥離又は分離する処理を行う。
- 調製した試料又は未処理の試料を目視と実体顕微鏡で詳細に観察し、試料の種類や前処理の必要性の有無を確認する。前処理が必要な場合は適切な前処理を行う。
- 次に、試料を実体顕微鏡で観察し、アスベストの可能性のある繊維を探して代表的なものを取り出し、PLM（偏光顕微鏡）用の標本を作製する。
- 標本をPLM（偏光顕微鏡）で観察し、形態、光学的性質からアスベストの同定を行う。
- この手順でアスベストが検出されなかった場合、又は試料から実体顕微鏡で確認できる大きさの繊維が見つからなかった場合は、無作為に分取した試料を用いてPLM（偏光顕微鏡）用の標本を作製し、実体顕微鏡では見えない微細なアスベスト繊維を探す。

②JIS A 1481-3によるアスベスト含有率のX線回折定量分析方法の概要

“アスベスト含有”と判定された場合、予想される含有率に応じて、一次分析試料を直接用いるか、定量用二次分析試料または定量用三次分析試料を作製して基底標準吸収補正法を用いたX線回折定量分析方法によって求め、アスベスト含有率を算出する。

※参考として、参考資料1にJIS A 1481-1の分析フローを、参考資料2に偏光顕微鏡によるアスベスト分析写真（例）を示す。また、参考資料3にJIS A 1481-3の分析フローを示す。

【測定結果】

アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率 (%)
アスベスト含有せず	—	—

注記1 アスベスト含有の有無の判定結果の詳細は、【定性分析結果の詳細】に示す。定量分析を行った場合は、その詳細を【定量分析結果の詳細】に示す。

注記2 定量分析を行わなかった場合は、アスベスト含有率の欄に「—」を示す。